

構成遊びを楽しんでいます

少し前から、キングブロックで乗り物を作ったり大型積み木でお城を作ったり、巧技台を組み立てて身体を動かしたりして、様々な遊びを楽しんでいます。これらの遊びでは、ブロックをどのように組み合わせれば目的のものができののか考えて組み替えたり、自分たちのイメージした場になるように並べたりして、構成していく力 ※1 がついていきます。また、友達と一緒に取り組むことで、やりとりをしながら遊び、時にはトラブルを通して互いの思いや考えの違いに気付いたり、相手を意識して行動したりして、人と関わる力 ※2 が育っていきます。



※1 6 思考力の芽生え

※2 3 共同性

9 言葉による伝え合い

水の気持ちよさを感じています

あつという間に梅雨が明け、暑い季節になりました。暑すぎる時期もありましたが、タコプールに入ったり、水を使った砂遊びや水鉄砲をしたりして、水に触れる心地よさを感じながら楽しんでいます。念願のタコプールでは、プール開きのときに考えたそれぞれの目標に向かって挑戦する姿が見られます。少しでも水に顔をつけてみようとしたり、思い切って潜ってみたりしています。その中で、「やってみたらできた！」という姿がたくさん見られました。友達がしていることに刺激を受けて、自分も挑戦してみようとする姿も見られます。水鉄砲やホースを使っの遊びや、砂場での遊びでは、水が流れていく面白さや砂に吸い込まれていく不思議さなど、様々なことを“面白い”と感じています。この“面白い”と思うことが、“もう一回”“もっともっと”という意欲につながります。そして、そこから考えたことを試したり、新たな発見をしたりしています。



水に触れる気持ちよさを感じる。

10 豊かな感性と表現



水の性質に気付いたり、自分なりに考えて試したりする。

6 思考力の芽生え

子どもたちの思考力は、周りのものに好奇心をもって自ら関わり、様々なことに気付いたり、考えたりする中で育まれていきます。幼児期の思考力の芽生えは、小学校以降の学習に興味や関心をもって主体的に関わることに繋がります。生活や遊びの中で、子どもたちの気付きや好奇心を大切にしていきたいですね。

七夕に向けて

七夕の由来や意味を知り、願いを込めながら、いろいろな七夕飾りを作りました。年長組は、“貝つなぎ”や“扇面つなぎ”など、指先の細かい動きが必要な飾りにも挑戦し、折る・切る・貼るなど、一つ一つの工程に丁寧に取り組もうとする姿が見られました。短冊作りでは、マープリング液を水に垂らし、できた模様を紙に写し取りました。不思議できれいな模様ができるたびに驚きや喜びの声が上がりました。

7月7日には七夕集会を行い、七夕の由来のパネルシアターを見たり、みんなで歌を歌ったりしました。ご家庭で短冊に願い事を書いていただき、ありがとうございました。子どもたちやご家族の素敵な願い事が叶うといいですね。



グループみんなの輪をつなげよう！



こよりを使って笹飾りを結ぶよ！

友達と一緒に作り進める。

10 共同性

丁寧に、思いをもって取り組む。

2 自立心

10 豊かな感性と表現

“結ぶ”という経験を

短冊や七夕飾りを笹に結ぶ際、こよりを使いました。紐状のものを使って結びつけるということにかなり苦戦をしている子どももいました。日常生活の中で、経験する頻度は多くありませんが、『固結び』ができるような機会がもてるとよいですね。七夕飾りでは、何回も結ぶことを繰り返すことでできるようになった姿が見られました。

おたんじょうび おめでとう

